



## 平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年1月29日

上場会社名 任天堂株式会社

上場取引所 東大

コード番号 7974 URL http://www.nintendo.co.jp

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 岩田 聡

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 経営統括本部長 (氏名) 森 仁洋

TEL 075-662-9600

四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	1,536,348	—	501,330	—	352,488	—	212,524	—
20年3月期第3四半期	1,316,434	84.7	394,036	135.1	430,830	95.2	258,929	96.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	1,661.81	—
20年3月期第3四半期	2,024.51	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第3四半期	1,768,030	1,171,996	66.3	9,163.52
20年3月期	1,802,490	1,229,973	68.2	9,616.69

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 1,171,880百万円 20年3月期 1,229,874百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	140.00	—	1,120.00	1,260.00
21年3月期	—	660.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	710.00	1,370.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 有

## 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,820,000	8.8	530,000	8.8	370,000	△16.1	230,000	△10.6	1,798.46

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

## 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、3ページ「【定性的情報・財務諸表等】 4. その他」をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 有

(注) 詳細は、3ページ「【定性的情報・財務諸表等】 4. その他」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 141,669,000株 20年3月期 141,669,000株

② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 13,783,587株 20年3月期 13,779,353株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第3四半期 127,887,319株 20年3月期第3四半期 127,897,311株

## ※将来に関する記述等についての注意事項

本資料に含まれる将来の見通しに関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき当社の経営者が判断した見通しであり、潜在的なリスクや不確実性を含んでいます。現実の結果(実際の業績及び配当予想額を含みますが、これに限られません。)は様々な要因の変化により、これら見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきくださいますようお願い致します。なお、予想の前提条件その他の関連する事項については、2ページ「【定性的情報・財務諸表等】 3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しています。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しています。

## 【定性的情報・財務諸表等】

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期の売上高は1兆5,363億円、営業利益は5,013億円、経常利益は為替レートが急激に円高に推移し多額の為替差損が発生したことなどにより3,524億円、四半期純利益は2,125億円となりました。

売上を事業の種類別に見ますと、レジャー機器部門において、携帯型ゲーム機関連では、国内では2008年11月1日に発売した「ニンテンドーDSi」が166万台の販売を記録し、米国及び欧州では「ニンテンドーDS Lite」が前年同期を上回る販売台数を記録するなど、当第3四半期の全世界における販売台数は2,562万台となり、累計販売台数が9,622万台となりました。対応ソフトウェアについても、「ポケットモンスター プラチナ」が国内だけで200万本を突破し、「星のカービィ ウルトラスーパーデラックス」が全世界でヒットしたことに加え、充実した他社ブランドの中からも多くのミリオンセールスタイトルが生まれたため、当第3四半期の全世界における販売本数は1億6,378万本となりました。

据置型ゲーム機関連では、特に米国や欧州におけるクリスマス商戦期に「Wii」の販売台数が大きく増加したため、当第3四半期の全世界における販売台数は2,052万台、累計販売台数が4,496万台となりました。また、対応ソフトウェアは、「マリオカート Wii」、「Wii Fit」が1,000万本を超える販売を記録した他、「はじめてのWii」が940万本となり引き続き好調な売れ行きとなりました。さらに当第3四半期に発売した様々な楽器を簡単に演奏できる「Wii Music」や遠く離れた友だちと「Wii スピーク」を使って会話を楽しみながら遊べる「街へいこうよ どうぶつの森」などが順調に売上を伸ばした他、「ニンテンドーDS」同様他社ブランドのソフトウェアの売上も増加するなど、多種多様なラインアップがユーザーの皆様に支持された結果となりました。

これらの結果により、レジャー機器部門は売上高1兆5,336億円、その他(トランプ・かるた他)部門の売上高は26億円となりました。

業績における所在地別セグメント状況を見ますと、日本では売上高が1兆3,690億円(セグメント間の内部売上高1兆1,644億円を含む)、営業利益が4,505億円、南北アメリカでは売上高が6,291億円(セグメント間の内部売上高15億円含む)、営業利益が334億円、欧州では売上高が6,360億円(セグメント間の内部売上高37百万円含む)、営業利益が395億円となりました。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末の総資産は、前期末に比べ344億円減少し、1兆7,680億円となりました。主な要因は、配当金や法人税等の支払いによります。また、負債は前期末に比べ235億円増加し、5,960億円となりました。主な要因は、原材料等の仕入による支払手形及び買掛金が増加したことによります。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループは、提供する娯楽を通じて関わる多くの人々を笑顔にしたいとの考えの下、継続的な「ゲーム人口の拡大」に取り組み、老若男女を問わず多くの方々に楽しんでもらえる製品の提供に努めています。

なお、当期の業績予想につきましては、本日公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」を参照ください。今回の業績予想において主要な為替レート的前提は1USドル=90円、1ユーロ=120円としています。新たに見直しました通期販売予想数量は、10ページをご覧ください。

## 4. その他

### (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### 法人税等の算定方法

法人税等の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によつています。

#### 税金費用の計算

一部の連結子会社については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

### (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

#### ①「四半期財務諸表に関する会計基準」等の適用

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しています。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しています。

#### ②重要な資産の評価基準及び評価方法の変更

##### 製品、仕掛品、原材料及び貯蔵品

通常の販売目的で保有する製品、仕掛品、原材料及び貯蔵品については、従来、移動平均法による低価法によっていましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号)を適用し、主として移動平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しています。なお、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微です。

#### ③「リース取引に関する会計基準」等の適用

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっていましたが、第1四半期連結会計期間より「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号)及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第16号)を適用し、通常の売買取引に係る会計処理によつています。

また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額をゼロとする定額法を採用しています。これによる営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

なお、リース取引開始日が適用初年度前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を引続き採用しています。

#### ④「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

第1四半期連結会計期間より「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第18号)を適用し、連結決算上必要な修正を行っています。なお、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微です。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	944,366	899,251
受取手形及び売掛金	260,259	147,787
有価証券	167,775	353,070
製品	98,091	92,617
仕掛品	576	200
原材料及び貯蔵品	9,022	12,023
その他	140,783	144,060
貸倒引当金	△5,882	△2,176
流動資産合計	1,614,993	1,646,834
固定資産		
有形固定資産	68,660	55,150
無形固定資産	1,748	2,009
投資その他の資産	82,629	98,495
固定資産合計	153,037	155,655
資産合計	1,768,030	1,802,490
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	424,420	335,820
未払法人税等	37,419	112,450
引当金	1,268	1,848
その他	124,360	117,103
流動負債合計	587,469	567,222
固定負債		
引当金	4,294	4,506
その他	4,270	786
固定負債合計	8,564	5,293
負債合計	596,034	572,516
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	10,065	10,065
資本剰余金	11,723	11,640
利益剰余金	1,366,392	1,380,430
自己株式	△156,492	△156,184
株主資本合計	1,231,689	1,245,951
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3,848	5,418
為替換算調整勘定	△63,657	△21,495
評価・換算差額等合計	△59,808	△16,077

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
少数株主持分	116	98
純資産合計	1,171,996	1,229,973
負債純資産合計	1,768,030	1,802,490

(2) 四半期連結損益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

		当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)
売上高		1,536,348
売上原価		851,283
売上総利益		685,065
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費		100,382
研究開発費		27,073
その他		56,279
販売費及び一般管理費合計		183,734
営業利益		501,330
営業外収益		
受取利息		26,272
その他		2,022
営業外収益合計		28,295
営業外費用		
売上割引		622
為替差損		174,233
その他		2,281
営業外費用合計		177,137
経常利益		352,488
特別利益		
投資有価証券売却益		84
その他		14
特別利益合計		98
特別損失		
固定資産処分損		55
投資有価証券評価損		6,115
特別損失合計		6,171
税金等調整前四半期純利益		346,415
法人税、住民税及び事業税		129,493
法人税等調整額		4,362
法人税等合計		133,856
少数株主利益		35
四半期純利益		212,524

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しています。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しています。

### (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

### (4) セグメント情報

#### 【事業の種類別セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループの取扱製品をその種類、性質、製造方法、販売市場等の類似性にて判別したところ、全セグメントの売上高の合計及び営業損益の金額の合計に占める「レジャー機器」の割合がいずれも90%を超えていて、また、当該セグメント以外で、開示基準に該当するセグメントがありません。従って、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しています。

#### 【所在地別セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)

(単位:百万円)

	日本	南北アメリカ	欧州	その他の地域	計	消去又は全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	204,606	627,580	635,979	68,180	1,536,348	-	1,536,348
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	1,164,434	1,589	37	243	1,166,304	(1,166,304)	-
計	1,369,041	629,170	636,017	68,424	2,702,652	(1,166,304)	1,536,348
営業利益	450,560	33,491	39,520	3,307	526,880	(25,549)	501,330

#### 【海外売上高】

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)

(単位:百万円)

	南北アメリカ	欧州	その他の地域	計
I 海外売上高	628,838	635,990	74,303	1,339,133
II 連結売上高				1,536,348
III 連結売上高に占める海外売上高の割合	40.9%	41.4%	4.9%	87.2%

### (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

(要約)前四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	期 別	前第3四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)
		金 額
I 売上高		1,316,434
II 売上原価		761,944
<b>売上総利益</b>		<b>554,489</b>
III 販売費及び一般管理費		160,453
<b>営業利益</b>		<b>394,036</b>
IV 営業外収益		37,789
為替差益		143
その他		37,646
V 営業外費用		995
<b>経常利益</b>		<b>430,830</b>
VI 特別利益		3,830
VII 特別損失		2,135
<b>税金等調整前四半期純利益</b>		<b>432,525</b>
税金費用		173,679
少数株主利益		△ 83
<b>四半期純利益</b>		<b>258,929</b>



## 6. その他の情報

### (1) 連結販売実績

(単位:百万円)

事業の種類別 セグメント	主要製品	前第3四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)
レジュー機器	ハードウェア	854,164	966,185
	ソフトウェア	459,454	567,498
	レジュー機器 計	1,313,618	1,533,683
その他	トランプ・かるた他	2,815	2,665
合 計		1,316,434	1,536,348

### (2) 連結参考情報

(単位:百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当連結会計年度 (予想) (自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日)
有形固定資産減価償却額	5,486	7,600
研究開発費	27,092	40,000
従業員数 (期間末)	4,059 人	-

### (3) 提出会社の主な未予約外貨建資産及び負債

(単位: 百万ドル、百万ユーロ)

	当第3四半期末 残高	当第3四半期 累計期間 為替レート	当第4四半期 及び 当期末想定 為替レート
USドル 建 現 預 金	2,719	期中平均レート(USドル) ¥102.84	
USドル 建 売 掛 金	1,732	期末レート(USドル) ¥91.03	¥90.00
USドル 建 買 掛 金	433		
ユーロ 建 現 預 金	3,195	期中平均レート(ユーロ) ¥150.70	
ユーロ 建 売 掛 金	1,279	期末レート(ユーロ) ¥127.96	¥120.00

#### (4) 連結販売実績数量及びタイトル数

				販売数(単位: 万台・万本)、タイトル数(単位: 本)			
				前第3四半期連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	累計	通期(予想) (自平成20年4月1日 至平成21年3月31日)
ゲームボーイアドバンス	ハード	国内	11	6	1,695		
		米大陸	55	△ 0	4,164		
		その他	60	32	2,285		
		計	126	39	8,144		
	ソフト	国内	30	22	7,294		
		米大陸	759	35	21,724		
		その他	170	2	8,706		
		計	959	59	37,724		
	タイトル数	国内	-	-	786		
		米大陸	27	-	1,021		
その他		17	-	921			
ニンテンドーDS	ハード	国内	564	329	2,567		
		米大陸	844	954	3,193		
		その他	1,042	1,279	3,862		
		計	2,450	2,562	9,622	3,150	
	うちニンテンドーDSi	国内	-	166	166		
		米大陸	-	-	-		
		その他	-	0	0		
		計	-	166	166		
	ソフト	国内	3,334	2,711	14,212		
		米大陸	5,114	6,455	18,775		
その他		6,241	7,211	20,352			
計		14,689	16,378	53,338	19,300		
タイトル数	国内	345	332	1,235			
	米大陸	239	303	870			
	その他	253	418	1,022			
Wii	ハード	国内	299	189	780		
		米大陸	647	980	2,040		
		その他	483	883	1,676		
		計	1,429	2,052	4,496	2,650	
	ソフト	国内	1,071	1,104	3,210		
		米大陸	4,641	9,029	16,966		
		その他	2,723	6,246	11,047		
		計	8,435	16,378	31,222	19,300	
	タイトル数	国内	84	91	244		
		米大陸	149	219	460		
その他		117	184	413			

(注) 1 上記のタイトル数におけるその他は、欧州及び豪州で発売されたタイトル数です。

2 上記のニンテンドーDSの販売実績数量及びタイトル数には、ニンテンドーDSiウェアの数量を含みません。

3 上記のWiiの販売実績数量及びタイトル数には、バーチャルコンソール及びWiiウェアの数量を含みません。

4 当期予想におけるソフトの数量は、12月末までの実績部分にはハードに同梱した数量を含んでいますが、1月以降の予想部分には同梱する数量を考慮していません。